別紙

Ⅰ．事業評価総括表

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	志割水路改良工事	広島市	16,218,360	3,000,000	

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表

<table>
<tr><th>番号</th><th>措置名</th><th colspan="3">交付金事業の名称</th></tr>
<tr><td>1</td><td>公共用施設に係る整備、維持補修
又は維持運営等措置</td><td colspan="3">志割水路改良工事</td></tr>
<tr><td colspan="2">交付金事業者名又は間接交付金事業者名</td><td colspan="3">広島市</td></tr>
<tr><td colspan="2">交付金事業実施場所</td><td colspan="3">広島市佐伯区湯来町大字菅沢</td></tr>
<tr><td colspan="2">交付金事業の概要</td><td colspan="3">志割水路は、志割地区における営農上主要な水路として利用されていますが、未改良の土水路のため、老朽化による漏水や増水時の洗掘が著しく、流水量の確保や補修に多くの労力を必要とし住民が苦慮していました。
住民から水路改良の要望があり、平成28年度から改良工事に着手しています。
具体的には、既存の水路をコンクリート製の水路に改良するもので、工区を分けて下流部分から順次取り組んでいます。
平成28年度は、最も下流の部分（施工延長　L=171.9m）について、水路改良工事（土工、水路工、擁壁工、舗装工、構造物撤去工、仮設工）を実施します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">総事業費</td><td rowspan="3">16,218,360</td><td>交付金充当額</td><td>3,000,000</td></tr>
<tr><td>うち文部科学省分</td><td></td></tr>
<tr><td>うち経済産業省分</td><td>3,000,000</td></tr>
<tr><td colspan="2">交付金事業の成果目標</td><td colspan="3">志割水路は、志割地区の耕作地（受益地　2.25ha）の取水・排水機能を担っている営農上主要な水路として利用されていますが、現況は、未改良の土水路となっているため、老朽化による漏水が著しく安定した流水量の確保が困難となっています。
特に、大雨や台風などの増水時には洗掘されやすく、その補修にも苦慮しているため、住民から水路改良の要望が出されていました。
高齢化が進むなかで、農家の労力の負担軽減は、耕作を継続させるうえで緊急の課題となっていますので、平成28年度から志割水路の改良工事に取り組んでいます。
改良工事の実施により、漏水や洗掘の問題が解消され安定した流水量が確保でき、さらに、水路の維持管理も容易になりますので、農家の労力の負担が大きく軽減され、農業経営の安定に資することができます。
また、本年度の事業完了後に、地域住民に対し事業への満足度を聞き取り調査し、あわせて、今回の水路改良工事が電源立地地域対策交付金事業を活用していることをPRすることで、発電用施設の設置及び運転の円滑化のため、地域の理解を促進することが期待できます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">交付金事業の成果指標</td><td colspan="3">上記成果目標を達成するため、本年度の志割水路改良工事の完了後に水路改良工事の満足度を検証することとし、志割地区に在住している者や地区内で耕作している者を対象とした聞き取り調査を実施し、改良工事の結果に対して「満足している。」と回答した人の割合70%以上を成果指標とします。</td></tr>
</table>

交付金事業の成果及び評価	今回の改良工事で、未改良の土水路をコンクリート製にしたことで、漏水がなくなり安定した流水量を確保できるようになりました。 また、大雨や台風等の増水時にも洗掘のおそれがなくなり、高齢化が進んでいる農家の労力の負担軽減と安定した農業経営に資することができました。 工事完了後に、水路改良工事の満足度について検証するため、志割地区に住んでいる住民や耕作者を対象に聞き取り調査をした結果、回答のあった10人中8人が「満足している」と答え、目標を達成しました。 （満足度80%。満足と回答しなかった者のうち1名は、まだ現地を見ていないので「分からない。」と回答しています。） また、聞き取り調査に合わせて、電源立地地域対策交付金事業の概要について説明しました。 説明の前には、全員が交付金事業について「知らない」と回答しましたが、説明後には、全員から、交付金事業が「地域のために役立っている」との回答を得ました。 これは、今回の水路改良工事が交付金事業を活用していることをPRし、交付金事業が地域のために役立っていると住民が実感した結果と考えています。 交付金事業の実施により、発電用施設の設置及び運転の円滑化のための地域の理解が促進できました。 また、工事に対する今後の要望についても、聞き取り調査により具体的に把握することができましたので、今後の事業に生かしていく予定です。

交付金事業の契約の概要

契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
農業用水路改良	一般競争入札（入札後資格確認）	有限会社中西組	16,218,360
計			16,218,360

成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無		交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	平成35年度

（備考）（1）事業ごとに作成すること。
（2）番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
（3）交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条（目的）を踏まえて具体的に記載すること。
（4）交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
（5）交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
（6）交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
（7）成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。